



この地から！
この力！
直撃インタビュー
「なめらかプリン」開発者
プルシツクの所 浩史さん
 ・岐阜県洋菓子協会理事
 ・名古屋製菓専門学校非常勤講師
 ・長森中学校PTA副会長
 ・旧明徳小学校、旧明郷中学校出身

なぜ、お菓子職人になられたのですか。

父がお菓子屋さんで、小さい頃から「かっこいい。」と思っていました。しかし、閉店してしまい、父の店を継ぐことができなくなり、ペンションで働いたことがありました。その時、オーナーから「ケーキを作ってみないか。」と言われ、作るようになりました。オーナーがケーキを作っている私を見て「楽しそうだね。」とおっしゃいました。その時、「やっぱり、自分はお菓子を作る仕事をしたい。」と思いました。それ以来、ずっとお菓子作りにかかわる仕事をしています。

働きがいは何ですか。

はじめてお菓子屋さんで働きはじめたある日、私が作ったケーキを直接お客さんに手渡すことになりました。手渡した瞬間のお客さんのまばゆい「笑顔」。その「笑顔」がいまだに忘れられません。この「笑顔」に出会ってから、さらに、おいしいものを作りたいと思い、努力し、努力することによって「自信」も手にしてきたような気がします。仕事とは、こういうことの繰り返しではないでしょうか。



シャンティイ

材料の生産地を海外まで見に行かれるそうですが。

ドミニカにカカオを求めて行った時のことです。カカオがどのような木に実を付け、どのような人に栽培されているかを知った時、現地の方の思いを感じ取ることができました。それ以来、食材に対する愛着がより深くなり、お菓子を作る時、現地の方の思いをくみとりながら仕事ができるようになりました。



岐阜市の子ども達へのメッセージをどうぞ。

「この人みたいになりたい。」と思える人に出会うことが大切です。それが、自分の仕事につながっていくこともよくあります。そのためにも、その人に出会うために、自分からかかわっていくことが大切です。そんな人に出会えば、おのずと自分の道が見えてくると思います。また、みなさんも、人からほめてもらうとうれしい気持ちになると思います。それは、まわりの人を大切にしているからほめてもらえるのだと思います。まわりの人を大切にすることは、同時に自分を大切にすることになると思うのです。

家庭教育啓発市民運動「決めて、守ろう！『我が家のルール』」

平成26年度 家庭教育啓発市民運動 「決めて、守ろう！『我が家のルール』」作品審査結果

- 募集期間：平成26年9月～10月
- 募集対象者：市内小学校5・6年生児童及び中学校1年生生徒
- 募集内容：「我が家のルール」とそれに関する家族の様子や思いについての作文
- 評価：「我が家のルール」と作文の内容で総合的に判断
- 応募総数：3,438点
- 応募学校数：47校(小学校37校、中学校10校)

賞	学校	学年	氏名	我が家のルール (作文の題)
優秀賞	本荘小	5年	上條 詩織	「ダメ」という言葉を他の言葉に言い代える
優秀賞	東長良中	1年	谷口 愛莉	朝は「おはよう」とあいさつをする
優良賞	白山小	6年	加藤 隆太	夜9時になったら、家族全員のケータイは居間の充電器に置く
優良賞	岐阜清流中	1年	有馬 佑美	毎月第3日曜日に話し合いをしている
優良賞	長森南小	5年	土本真咲生	家族全員で小さな妹を守る
優良賞	加納西小	5年	滝本 真拓	ていねいな言葉づかいを心がける
優良賞	島小	6年	實城 明里	夕食は家族そろって話をしながら食べる
優良賞	境川中	1年	山本 健矢	朝食は家族そろって食べる
佳作	本荘小	5年	隅田 咲帆	休日は家族みんなで食事の準備をし、楽しく食べて、みんなで後片づけをする
佳作	芥見小	5年	水野 聡太	家族が出かけるときは必ず誰かが道路まで出て見送りをします
佳作	鶯小	6年	赤堀 寛弥	朝、登校する前に家のそうじをすること
佳作	鶯小	6年	浅井 香歌	苦手な野菜料理を残さず食べる
佳作	東長良中	1年	野崎 友花	食事中にゲーム、けいたいを見ない
佳作	島中	1年	熊田帆乃香	携帯は約束を守って使用する

優秀賞作品

《優秀賞》 谷口 愛莉 (東長良中学校 1年)
《我が家のルール》 朝は「おはよう」とあいさつをする
 私達の家族は2年前まではまったくあいさつをしませんでした。だから父の帰りが遅い時一日話をしなかったこともありましたが、いかに大事なあいさつをしないといけないのかと地域の方々にも自分からあいさつをしてみようと思いました。これからはだめだと思えば自らあいさつをしていきました。それが続きました。それが我が家のルールになりました。これで行ったことで、一日の

《優秀賞》 上條 詩織 (本荘小学校 5年)
《我が家のルール》 「ダメ」という言葉を他の言葉に言い代える
 わたしの家では、「ダメ」という言葉をほかの言葉に言い代えることを我が家のルールにしました。なぜなら、わたしの兄がじいちゃんというものになってしまった。兄は「ダメ」という言葉を聞くたびに泣いてしまっています。だから僕も泣いてしまっています。自分がお客さんになりたくなっています。なので、家では「ダメ」と言うのではなく他の言い方をするようにしています。たとえば、「別のことをしようね」「やーいっしょにしよう」というふうにしています。母からは「ギツイ言い方をしたか」といって、相手が変わるわけでもない、言った方も言われた方も気分が悪くなるから、おたやかな言い方で話す方がふんい気がよくなる。と言っていました。わたしは「ダメ」という言葉を他の言葉に言い代えるというルールにしてよかったと思います。なぜなら、自分ができるようになったことが少しずつできるようになったからです。まだ少しダメと言ってしまうことがあります。これからはダメという言葉を少なくしていきたいです。

毎月第3日曜日は「家庭の日」です。「家族でふれあう時間を大切にしましょう！」

キャラバン冬レポート

小中学生41名のみなさんが、高山市清見町の山里で雪遊びを思い切り楽しんできました！岐阜市では見られない雪の多さで、かまくら作りやソリ遊び、動物の足あとさがしなどに夢中になりました！



プレゼント「所プリン(2個)」10名様

所さんから「なめらかプリン：所プリン(2個)」を10名の方にプレゼント！ハガキに ①住所 ②氏名 ③電話番号 ④学校・学年 ⑤egg41号の感想 を書いて送ってください。
 〒500-8813 岐阜市明徳町11番地 中央青少年会館 egg41号 プレゼント係
 【メ切】3月6日(金)必着 当選者は、中央青少年会館に引換券をとりこぎてください。



編集後記
 今、皆さんは、卒業や進級・進学を控えていると思います。そこで、今回は、多くの人からメッセージをもらう構成にしました。そのメッセージの中には、キラキラ輝く言葉がいっぱいあると思います。これらの言葉は、これから皆さんが進む道の羅針盤になるのではないかと思います。

第41号 平成27年2月17日発行
 編集・発行
 岐阜市教育委員会 中央青少年会館
 〒500-8813 岐阜市明徳町11番地
 TEL/FAX 058-266-5134

語り合おう夢！活かそう力！
 小中学生のための地域情報発信誌

えがお げんき きらっ子
egg エッグ

岐阜市長良川
 ふるさと体験キャラバン冬
 in高山市清見町
 1月31日・2月1日



地域で輝く中高生

中央ライブ ON FIRE (1/23)



eggマスコットキャラクター いのくつ

先輩からのメッセージ



「いのくつ」の考案者 安田あすかさん

直撃インタビュー



「なめらかプリン」開発者 プルシツクの所 浩史さん

vol.41
 2015.冬号

eggのホームページにアクセスしよう！
 デジタルegg 検索

岐阜市ホームページ <http://www.city.gifu.lg.jp/>

発行 岐阜市中央青少年会館

岐阜市発
 情報発信誌